

中学校の国語科の先生方へ



今年の高校入試を分析したら、こんなことがわかりました！

合格者の国語の平均点は、52.3点
漢字の読み書きなど、知識に関する問題の正答率が高い



正答率の低かった問題を見てみましょう！

< 文学的文章 > では...

登場人物の心情の変化やその理由をとらえ、書いてまとめる問題が、33.6%
文章の内容を的確に読み取り、自分の言葉でまとめる力が不足

読み取って終わりではなく、書いてまとめる活動を充実させましょう！

< 説明的文章 > では...

文章の展開に即して内容を的確にとらえ、書いてまとめる問題が、24.6%
文章の展開に即して表現の意図をとらえ、選択肢から選ぶ問題が、48.8%
文章の展開に即して抽象的な概念を表す語を抜き出す問題が、6.2%
論理の展開や表現の意図をとらえる力、抽象的な概念を理解する力が不足

段落ごとの詳細な読みだけではなく、筆者の主張や表現の意図を大きくとらえさせる授業展開を工夫し、抽象的な表現にも多くふれさせましょう！

< 活用 > では...

文章や図表等の情報を生かし、自分の体験を交えながら書く問題が、10.5%
情報を自分の体験と結びつけながら、目的や意図に応じて書く力が不足

必要な情報を読み取り、自分の表現に生かす言語活動を取り入れましょう！

< 古典 > では...

古典に親しみ、既習内容である有名な古典の冒頭を朗読する問題が、46.0%
漢詩とその鑑賞文を読み比べ、内容をとらえる問題が、53.1%
古典に親しみ、その内容を読み取る力がやや不足

朗読などにより古典に親しむ態度を養い、古典を読むための知識や技能を定着させ、古典の面白さを実感させる授業を工夫しましょう！



日々の授業が変われば、生徒の学力は身に付きます！

くわしい分析は、学力検査問題と報告書を見てくださいね！